

73

にえ かわ

贅川関所散策小道

長野県檜川村



データボード ⑦③

- ① 長野県檜川村贅川
- ② 車道橋延長17.1m, 幅員7m, 歩道橋延長12m, 幅員4.5m
- ③ 照明モニュメント光の碑, 音響管
- ⑤ 木曾檜川フォトコンテスト, 木曾漆器祭, 贅川保存太鼓

贅川関所の歴史は木曾氏が北側の口留め番所として設けたことに始まる。関ヶ原の合戦後は公式関所のひとつとして門を構え、威厳を呈していた。

「贅川関所散策小道」は、J・R中央本線の上に架かる橋梁の整備に伴い、贅川関所の入り口にふさわしい景観整備が行われたもので、高欄は木曾路の山並みをイメージし、その中に往時の大名行列のレリーフをあしらひ、上部には木槌で叩くと木曾節を奏でる音響管を設置した。

また、照明モニュメント「光の碑」が設置され、未来を照らすガラスの篝火にロマンが感じられる。訪れる人に情緒ある名所として親しまれ、地域の人たちには文化の拠点として、ふるさととしての誇りをもてる場所となっている。